

平成 27 年 4 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

飯館村教育委員会

平成27年4月 定例飯館村教育委員会会議録

- 1 招集日時 平成27年4月24日（金）午後3時00分
- 2 招集場所 飯館村役場飯野出張所 2階会議室
- 3 出席委員
教育委員長 佐藤 眞 弘
教育委員（委員長職務代理者）菅野 クニ
教育委員 高倉 文子
教育委員（教育長） 八巻 義徳
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者 教育課長 村山 宏行
学校教育係長 佐藤 正幸
- 6 開 会 午後3時00分
- 7 委員長あいさつ
委員長 日程第1 委員長あいさつ
新年度がスタートし、子どもたちがこの1年間すばらしい学校生活を送れるように、教育委員会もバックアップをお願いします。復興計画第5版が出されます。今年度から、教育が課題になってくると思います。復興に向けて、学校をどうやって村に戻すか、また、子どもたちをどうやって戻すかという議論も出てくると思いますので、教育委員会の中でも徐々に議論をしていきたいと思います。以上、あいさつとします。
- 8 会期の決定及び書記の指名について
委員長 日程第2『会期の決定及び書記の指名について』を議題とします。
会期を本日、平成27年4月24日の1日間とし、書記に教育課学校教育係長 佐藤 正幸 氏を指名したいと思います。よろしいでしょうか。
全 員 はい。よろしくをお願いします。
- 9 平成27年3月定例教育委員会会議録の承認について
委員長 日程第3『平成27年3月定例教育委員会会議録の承認について』を議題とします。
何かありましたらお願いします。
全 員 何もありません。
委員長 それでは、『平成27年3月定例教育委員会会議録について』は、承認することで決定します。
- 10 平成27年4月臨時教育委員会会議録の承認について

委員長 日程第4『平成27年4月臨時教育委員会会議録の承認について』を議題とします。
何かありましたらお願いします。

全 員 何もありません。

委員長 それでは、『平成27年4月臨時教育委員会会議録について』は、承認することで
決定します。

11 教育長提案理由説明

委員長 日程第5 教育長提案理由の説明をお願いします。

教育長 お忙しいところご苦勞様です。

本日、飯館方面からおいで頂いた委員長はご覧になったかと思いますが、小学校に鯉のぼりが泳いでいます。村民からご寄付をいただいたもので、新校長が、「鯉のぼりを見たことがない子どもがいるのではないか、鯉のぼりを上げられない生活環境にあるのではないかと、教育課長と連携をして、ホームページなどで呼びかけたものです。この取組は、子どもたちに本当に有難いと思います。

教育計画の中で、取り組ませていただいておりますが、私の力不足はありますが、一つひとつ課題を解決しながら進めて参ります。よろしくお願いします。

12 議案第12号 平成27年度教育計画について

委員長 日程第6 議案第12号『平成27年度教育計画について』を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

教育課長 お手元の資料をご覧ください。(資料に基づき説明。)

具体的な取り組み等については、教育長よりお願いします。

教育長 (教育施策の具体的な取り組みについて、27年度の教育課程編成について説明。)

委員長 質疑に入ります。何かございますか。

菅野委員 教育課程の編成について、小学校と中学校がこれだけ同じような内容で行くという事は、編成前に、小学校と中学校の話し合いがあったということですね。

教育長 はい、そうです。

菅野委員 それがなければこれ程同じ内容にはならないでしょうし、併せて、教育委員会が一緒に作業があったという事ですね。

教育長 間に入っていたのが海野先生です。今、菅野委員が言われたように、海野先生と、小中学校の校長、教頭、教務主任が連携したものです。かなりの体力と時間が要ります。

委員長 小中の接続ということで、会津に小中一貫校が1校ありますが、文部科学省は、この間までは中高一貫校などと言っておりましたが、いつの間にか、小中一貫になってきました。これを進めて、小中連携して、小学校と中学校の境をなくす取組とか、先生方の人事交流も含めて、小・中学校を大胆に入れ替えて、子どもたちと接してもらえると、うまくいきそうな気がします。6年と3年でなく、9年というスパンの中で教育をしていく方が大事だと思います。今まで、その取組がされていなかったのも、是非この接続、小中一貫で、しっかり、長い期間育てる教育をしていくのが大事だと思います。今回、和田校長が中学校に異動したので、うまく行くと思います。是非、成功させていただいて、県のモデルになる位になればと思います。

教育長 今、委員長が言われた、小学校と中学校の名前が一緒になった学校、校長は、当然、一人ですが、それは義務教育学校と呼ばれ、6年と3年と合わせて9年ですが、以前の子どもは、身長が伸びる年が中1、中2年生でしたが、今は、小5、小6年生、女子であれば、初潮年齢が2年位早くなっているということです。

それで、体と気持ちの部分で境ができるのが、小4年で、小4年までの教育と、今で言う小5、6、中1の境が大きい。今、委員長が言われたように、9年間をいかに分けるか、その視野が入って、義務教育学校ができ始めているという事です。

教育課長 ドイツがそうですね。

委員長 その方が、良いと思いますね。成長も低年齢化していますね。我々の時は、中学校1年か2年で、一番成長しましたね。

教育長 今、高倉委員のお子さんは何年生ですか。

高倉委員 小学校1年生と3年生で、これからです。飯野団地の中にいる4年生の女の子で、少し難しい子がいます。親に対する態度、口の利き方がきついですね。他の人には普通ですけど、親にはきついですね。何か、4年生から変わるのかなと思います。

委員長 反抗期でしょうかね。

菅野委員 年齢よりは、子どもの体の発達が実は精神の発達と関連しているんですね。その辺で、子ども自身、戸惑っているし、大人はいつまでも自分の時の状況で、自分の小学校の頃を基準に話すわけです。ところが、子どもの体の発達は進んでいて、気持ちもそうになっていて、それを理解できないままに子ども扱いをすると、子どもの方は反発してくる、ということです。それが昂じると、分かってもらえないということに繋がるのだと思います。

私自身、性教育に関わる中で、中学校の先生方は、あるポイント的な所でお話できますが、小学校の先生方は、体力の差がすごくありますので、個別に対応しなければならぬ。ですが、学年が、6学年あるので、中々仕切れない。先生方はズーと同じクラスで、学級運営が。その中で子供が、担任とうまくいかない子は、つまづきが生じる事があるんだろうと思います。

そういう意味で、飯館の小学校は、3人の養護の先生がいて、先生方も、3つの学校の先生に加配もありますよね。このチャンスを使いながら、子どもたちをフォローできたら良いと思っています。その時期がうまくすると、自分というものがうまくできて、肯定間が培われて、次の学力に繋がり、自分の目標も定まってきます。

委員長 それでは、教育計画については、以上でよろしいでしょうか。

全 員 はい。

委員長 議案第12号『平成27年度教育計画について』は原案のとおり承認します。

13 諸報告について

委員長 日程第7 『諸報告について』を議題とします。事務局より説明をお願いします。

教育課長 (主要な行事日程等について、平成27年度教育課事務分掌について、平成26年度飯館中学校生徒の進路状況について説明。)

教育長 (飯館中学校生徒の進路状況について、補足説明。)

教育課長 (その他として、飯館村学校支援ボランティア派遣実施要領(案)を説明。また、小学校3校のPTA会長連名にて、4月17日に、村立小学校長1人体制の維持に関

する要望書が議会及び村に提出されたが、議会は、この要望書に全く関係なく、4月21日に、教育事務所に「3校長復籍に関する要望書」を提出してきたようである旨を説明。）

菅野委員 行ったのですか。これを全然無視して。読んだんでしょうか。

教育課長 分かりませんが、行ったようです。行ったという事は聞いております。

菅野委員 行っても良いんですけども、それを受けてもらわなければ。

教育長 今、課長からお話しありましたが、資料13ページをご覧ください。この表は大事な表です。授業のうまい先生、教えるのがうまい先生、指導力のある先生がいますので、3校が一緒に命課があることで、その先生をT1、即ち、教壇に立たせることができます。

それから、「なかよしクラス」に、それぞれ、先生がいます。普通、小さい学校であれば、「なかよしクラス」は、1年生から6年生、全部一クラス、同じ教室です。今3校いっしょにいることでその3人を全部集め、それを学年に分けて、1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生を担当させることができます。特に、5、6年生は、体育と音楽は、通常のクラスに入れます。その時、菅原先生はこっちに行きます。残った子どもは、残りの佐藤先生と高野先生が見てくれます。低学年の方でも、通常のクラスにインクルーシブ (i n c l u s i v e) も含めて授業しています。

※ インクルーシブ教育：特別な支援を要する子どもを含めて、すべての子ども、一人一人の教育ニーズにあった教育的支援を、通常の学級において行う教育。(一人一人、「違う」ことを前提とした教育)

一般的には、なかよしクラス、即ち特別支援を要する子どもが一番、こうした体制でメリットを受けると言われます。ただ、学力の面で、今、結果が良いのは力のある教員がそれぞれいるという事と、養護の先生が3人とも力があるという結果だと思えます。

今、部活動で飯櫃の教務主任は橘先生ですが、大会の準備で、外で走らせたいと言った場合、3校の子どもたちがいると3人の先生の引率となりますが、命課があるため橘先生ともう一人位で行けます。こうしたメリットは大きいと思います。ですから、継続して議員に理解を求めていきます。

先日、鹿島区に避難する小高区の4つの小学校、校長先生は1つの部屋に4人います。全部合わせて、子どもの数は130人位です。そして、その小学校の校長先生1人に電話すると、「ちょっと電話する場所、変えます」といって、別な場所から電話をくれました。それは苦勞しています。それは、「子どもたちにとっても良くないね」、と言うと、「そうなんです」と言いました。

保護者から、「自分たちの孫も出していないで、それは無いだろう」という声も、何人かから出てきました。身内を通わず、通わせない、でなく、議員として、子どもたちがどうなると考えてほしいと思います。

土曜授業もそうです。飯館村の子どもたちが転校している市町村では、土曜授業は始まりました。お蔭様で、福島市も川俣などもやっています。誰のためにか、と言ったら、子どもたちのためです。ご理解いただきたいと思います。

委員長 そうです、そうなんですよね。

菅野委員 実際、議員さん、小高の学校の様子を見てきたらいいんじゃないかと思って。

教育長 4月7日の議会全員協議会で説明させていただくはずだったのですが、直前に「説明は要らない」と言われました。

菅野委員 説明を聞くと、「大変、アッ、そうか」となって困るからだと思いますけれど。

教育長 一所懸命やっていますが、ご理解いただけない。自己肯定感を下げないようにしていますが。

菅野委員 一番そこが大事かもしれないですが、子どもたちよりも、教育委員会の皆さんが、事務局の皆さんの方が、そこは。

委員長 子どもたちに直接教える先生方が手厚くいる事はありがたいです。しかも、1クラスに2人、3人で授業を持てるわけですから。先生も他の先生がどういう教え方するのか、学べて良いですよ。普通は、自分で、1人で、子どもたちと向き合いますので、それで良いかどうかって冷静に見れない。淡々と時間を過ごすだけですが、そこに先生1人か、2人いれば、その先生も、「こういう教え方あるんだ」と気付けます。そういう面でも良い、と思いますね。校長先生は3人は要らない、と思うんだけど。どういう発想でそうなるのか、理解に苦しむな。

菅野委員 最初に入った情報が、やっぱり身勝手だったと思うんです。校長が一人になっちゃうっていう時の。入れた情報が。

委員長 学校が1つになるっていう危機感ですか。

教育長 あれは、去年の3月の5日か7日と思いますが、それも、出せない情報ですからね。

菅野委員 みんな、ぶっちゃけたらって言ってできる訳ないので、議会に、例えばね、教育長、課長がですよ、そういう経過の中でそういう話をして、それは出せない話ですよ。だから、刺激しないようにお伝えしながら、分かっていただけないというご苦労があると思います。そもそもは、やっちゃいけない、ゆがんだ情報が最初に入っちゃったのが、せめて他の議員たちがそこを分かっていただければね。違うんでしょうけれど。

教育課長 1点報告が漏れていました。(4月の臨時議会で、ミュージック花火の補正予算を計上し、議決いただいている旨説明。)

教育長 子どもは無料で、お父さん、お母さんは3,000円です。

委員長 中学校のPTAの役員が決まらないっていう事なんですけれども、今、中学校のPTAの活動状況はどうなっているんでしょうか。

教育長 去年、1年間は、役員会が開けないと聞きましたが、学校教育係長は何か分かりますか。

委員長 特に年間行事を組んで活動しているっていう事はありません。

学校教育係長 26年度については、役員体制は決まっておりました。1年生については、入学式の際に決めており、2、3年生についても、総会の時には決まっておりました。

ただ、役員会の中で年間の何か行事を決めていく話し合いは特にありませんでした。

委員長 行事は全然ないということですか。

学校教育係長 最初の役員会では、学校行事のお手伝い程度で、あとは何もありませんといった説明でした。文化祭の駐車場や、子どもたちの着付けなどの手伝い、あとは、PTA同士のスポーツ交流会くらいで、その他の活動はありません。

委員長 年間行事を組んでいく、学校とのかかわりを持っていく、学校に、なるべく足を運ぶような、例えば窓拭きでも良いので、PTAで1時間位やってもらって、そのよう

なこともやってみればよいのだけれど。まるっきり学校に丸投げで、何にも自分たちはやらないっていう事になると、PTAとしてどうなのか、と思います。

教育長 奉仕活動などという話はないのでしょうか。

学校教育係長 出て来ないです。出す人がいないので、私が発言したというだけです。

教育課長 家庭教育学級は、以前はPTAで組んだんですよね。教養委員が集まって、「じゃあ、今年のテーマはこれにしましょうか。」で、こういったテーマで呼べる先生、教育委員会で世話して下さいという話があったんですよね。

委員長 何か、その辺がちょっと心配ですね。PTA役員も決まっていないのでは、副会長はいたんでしょう。

学校教育係長 副会長は、いたみたいですが、1回もあったことがないです。副会長が次の会長を引き受けるはずだったと会長が言うんですが、出てこないですから。

教育長 新しい校長体制で、PTA活動を何とかしたいと思います。特に、今年、大きな教員の人事異動ではなかったものですから、前の雰囲気を持つ先生方も沢山います。前校長が土曜授業に反対した時、「土曜授業をすれば部活動はできなくなる」、という文書を出したため、部活動をする訳にはいかない、という教員もいるそうです。

しかし、「土曜授業はチャンス。午後、部活動できる。どうですか」と校長が聞いた時、「やろう」という人がほしい。そしたら雰囲気は変わる。何人かは、土曜授業の時、部活動をする動きは出てきたということです。

委員長 折角、学校に来ているのに、勿体ない。体を動かすことは楽しいはず。

教育長 明日の総会で、どうなるのか、という雰囲気はつかめますか。

学校教育係長 総会ではつかめないと思います。総会では、会長が決まりませんという報告で終わり、その後の学年、学級懇談会があり、そこで役員を必ず出すということになります。そして、後日、その人たちが集まって、その中から会長以下の役員を決定するという事になります。明日中には、会長は決まりません。

委員長 PTA、しっかりやっていただきたいですね。これから、帰村に向けていろいろと話が出てきますから、どうしても、学校とPTAの話も聞きたくなるし、しっかりとした体制、会長も決まらないのではどうしようもないですからね。

菅野委員 そもそも、PTA総会では、どの位の会員が集まったのでしょうか。

学校教育係長 1年生の保護者が1番多く、2年、3年と少なくなる傾向にありますが、半分くらいは出席していると思います。

菅野委員 学年懇談会などをやった時には、そこに出てくる方などは。

学校教育係長 去年の初めは、1年生などは半分以上、かなりの方が集まりました。年度末については、半分くらいでしょうか。

教育長 PTA総会への出席意欲が高くないです。役員を充てられる心配で行かないという人もいます。私自身、校長時、PTA総会をして、その報告会をして、いずれかに出席をお願いしました。出席率は良くなりました。活力のあるPTA活動の中学校だと、福島県の2期選抜の高校入試の成績の分布の説明をする場合もあります。たとえば、県内で、160点以上は何人、150点以上は何人と話します。

そして、私どもの中学校の弱い所、強い所はここです、と説明します。すると、保護者が関心持って出てきます。どの位、親たちに関心のあることを提供できるかです。それを、案内の段階で知らして、関心の薄いPTA総会とセットにします。

委員長 授業参観は、PTA総会の前にやっていたが。

学校教育係長 そうです。今もそのようにやっています。

委員長 そうですよ、それをセットにしないと、集まらないので、そうしていました。

教育課長 小学校がうまいのが、校庭が狭いので、駐車はもう縦列駐車で空きがないんです。
途中で抜けて行く事ができないということです。

委員長 逆に良いかもしれません。

菅野委員 最後までいるしかない。それも作戦かな。

教育長 中学校もグラウンドには駐車できないような形にすれば「じゃ、帰れませんから、最後までっ」て。

教育長 中学校のPTA活動、大事だと思います。

委員長 大事ですね、中学校。PTAは、自分の子どもたちが心配じゃないのかなって、学校の先生に任して、安心しきっているのは違うと思う。しっかりとやってもらいたいと思います。

その他、質疑等はありませんか。

菅野委員 あとですね、私がすごく気になったのは、この中学生の進路、2人決まっていな
いという事実。要するに、無職少年ですよ。何かがあったら無職少年という表記です。
本人たちの希望はどうだったんですかね。

教育課長 不登校でした。

菅野委員 2人とも不登校でしたか。

教育課長 はい。

菅野委員 で、その不登校の状況は。

教育課長 海野先生などにも行っていただいています、夜中、ゲームをやって、日中ボーッ
として、学校に来れない、家で寝ている状況とのことです。

菅野委員 この子は、中学校になってからですか、小学校からですか。

教育課長 小学校の頃からその傾向はあったんだと思います。

菅野委員 不登校経験の大学生から、「義務教育が終わったら選択肢があるよ。学校に行か
なくても、卒業できたら選択肢があるよ。たとえば通信制の学校とか、いろいろ見つけ
てね、自分の目標を決めながらやれるよ」と。テレビに出ていたような気がします。
どのような関わりがあったのか、と。

教育長 今、菅野委員のお話で、「郡山アート」という学校がありますが、そこで高校卒の
資格をとることもできます。私も反省ですが、もう少し関わっていかなければと思っ
ています。親たちは、定時制、というと夜と思いますが、定時制の昼間、それから、
昼の通学日数を選択できる学校もあります。

菅野委員 私立、公立含めてね。

教育長 そうです。

菅野委員 岡山県の高校でしたか、そこは、不登校の子どもたちだけが集まる高校、その入学
式に、木幡副知事に入学式に出られていました。

教育長 福島中央高校も、多いときは35、36人位入って来ますが、大体6割は不登校経験者
です。自分の居場所を探して、見付け出します。

菅野委員 居場所が見つかるんですからね。いつまでも人間はそうしてられないんで、どう
いう風に関われるのか、と。大人側が。

教育長 このところ、次回、その辺りの経緯も含めて、お話しできるようにしてきます。

菅野委員 その他で、実は、5月の30、31日、ICRPの国際防護委員会のダイアログセミナーが杉妻会館であります。「はかる」が今回のテーマで、私がかかってきたこと、そこから見たことを報告します。はかってみたら言われた程ではない、という話です。

5月30日、午前9時30分～16時です。日曜日と同じです。夜は懇親会がありますので、花火には行けません。もう一つは、「語りべ」の育成です。これを社会教育の中でどうですか。というのは、私自身、県の教育旅行の「語りべ研修を受けました。福島県の今の状況は、除染の進み具合は、海の汚染は、農業の再生は、正しく知れます。私は、自分で食品の線量、ベクレル検査をしています。身近に検査をしながら、また考えられる。その上で、今の線量をどう理解するか、納得の上だと思います。大熊と富岡は社会福祉協議会でやっています。「語りべ」養成をして、社協でスタディーツアーを行う際に、それを受けた方が案内しています。

今は、役場の方がやっているんだと思いますが、負担になるし、こなしきれなくなってくると思うんです。今からそういう人たちを養成していった方が、ゆくゆくはできると思うんです。同じことを、社協の会長にも言っています。

教育長 行政懇談会が始まり、村長のお話は、28年の3月末から29年の3月、このあたりが皆さんとご相談しなければならない時期かなという事、そんな言い方です。

菅野委員 何か、戻らんだったら、仕方なく、国がそう言うから、村がそう言うからでなく、自分の事として、こういう状況だから帰ってもいい、と思って帰った方がいいのかな。それは、全員がなるのは難しい。でもこれ、百匹のさるじゃないんですけど、一人、二人、十人と、ある程度の数になったら、ドーッと広がっていくんですね。だから、じわじわと増やして行く事が重要ですね。そういう素地を今のうちに作っていくべきです。

委員長 その他ありますか。

全 員 ありません。

委員長 それでは、日程第7 『諸報告について』はこれで終了いたします。

14 その他

委員長 日程第8 その他『次回教育委員会の開催日程について』を議題といたします。

教育長 委員長どうでしょう、今年あたり、研修どうですか。県外での。次回あたり、その辺を調べておきますか。

委員長 はい、是非。

それでは、次回の教育委員会は、平成27年5月26日火曜日の午後3時から飯舘村役場飯野出張所での開催予定といたします。よろしいでしょうか。

全 員 はい。

委員長 日程第8 その他については、以上で終了します。

15 閉 会

委員長 以上で、平成27年4月定例飯舘村教育委員会を閉会いたします。

午後4時25分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育委員長

佐藤 真弘

教育委員（委員長職務代理者）

菅野 七二

教育委員

高倉 好子

教育委員（教育長）

八巻 義徳

書記：学校教育係長 佐藤 正幸